

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」稲田堤 校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションやカーテン、掲示物を用いて、支援スペースを明確化しています。 十分なスペースを確保する為に、一度に利用する人数の調整を行っています。	法令を遵守したスペースを確保しています。 支援内容によっては、スペースを調整、変更しています。
	②	職員の配置数は適切である	○		利用者様が安全に活動できるように、適切な人員配置を行っています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		入口にスロープ等はありませんが、教室内は利用者様が過ごしやすく配慮しています。（教室内表示や支援スペースの確保等）
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃・消毒・点検を行い、清潔で安全な環境を維持できるように努めています。	職員だけでなく、利用者様及びご家族様の検温・手洗い・アルコール消毒にご協力いただいています。定期的に換気も実施しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○		職員全体での打ち合わせや会議を行い、業務改善を図っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、集計結果をもとに、業務改善を図っています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社 HP にて公開・事業所内にて掲示をしています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後は、第三者からの評価をもとにした業務改善を図っていけるよう検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修に参加し、職員全体の支援の質の向上を図っていけるように取り組んでいます。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		利用者様の日々の状況を把握できるように、ご家庭や園と連携し、情報の共有を行っています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	定期的にあセスメントを実施し、個別支援計画を作成しています。	一定期間ごとにアセスメントシートをチェックし、成長の段階を適切に把握出来るように努めています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿って支援を実施出来るよう、心がけています。事業所内研修を通して、より理解を深められるよう努めています。	
関係機	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に基づいた、サービスを提供しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	教室全体で利用者様の支援を行えるよう、日々情報の共有を心がけています。	利用者様一人ひとりの支援プログラムを教室全体で立案出来るよう、検討する場を適宜設定していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者様一人ひとりの思いを尊重した支援内容を検討しています。利用者様の興味関心を把握し、意欲的に活動できるように配慮しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		利用者様のニーズに合わせて、個別と集団での活動が行えるよう、計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の支援について、職員全体で打ち合わせを行い、情報の共有を行った上で支援を実施しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		ミーティングを行う際には、支援の振り返りや、情報共有を行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日の支援の記録を残し、利用者様の情報を教室全体で共有できるように努めています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月（必要に応じて）ごとに、利用者様の状況に応じて、計画の見直しを行っています。	
関係機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		事業所内のミーティングや打ち合わせの時間等も活用し、サービス担当者会議を充実

関 や 保 護 者 と の 連 携					させていけるように努めています。	
	②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者様の要望に応じて、関係機関との連携を行っています。 園や学校との情報共有は適宜行っています。	
	③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、該当する利用者様はいませんが、今後必要に応じて連携していきます。
	④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、該当する利用者様はいませんが、今後必要に応じて連携していきます。
	⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援を希望される方を対象に、関係機関との連携を行っています。	
	⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今後、該当する事案がある場合には、関係機関との連携は適宜行っています。
	⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		現在、地域の発達支援センターの研修に参加しています。 研修で学んだことを、教室の支援に生かしています。	
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現在行っていませんが、今後は地域との交流の場を増やしていけたらと考えています。
	⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		現在参加出来ていませんが、今後は地域との交流の場を増やしていけたらと考えています。
	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		通所日だけでなく、それ以外の日にも電話やLINE等で連絡を取り合い、利用者様の状況を確認、把握できるようにしています。 保護者様との共通理解を深められるように、努めています。	
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		保護者様からの相談を随時受け付けています。 ご家庭でも実践出来るような支援や子育て方法等につい

					ても、利用者様に合わせてご提案させて頂いています。	
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		分かりやすい説明を行うように努めています。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインの指針及び、利用者様のより良い成長を目的とした個別支援計画を作成し、承諾のサインを頂いています。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		利用者様の成長に合わせて、子育てに関する助言や相談支援を行っています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者様の交流の場として、今後は保護者会や座談会等を検討していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご要望に合わせて、速やかに対応出来るよう、心がけています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		校舎内の掲示板やInstagram、教室 LINE 等を用いて、活動の様子が分かるようにしています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットにて保管をしています。個人情報にアクセスできる端末に関しては、パスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者様・保護者様の状況に応じて、ICT やその他の視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域から有志の方を招いて、折り紙教室を開催しています。今後も地域の方との交流を深めていき、地域に根ざした教室を目標に活動していきます。	
非常時等の	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		教室実施した訓練の様子を、Instagram等を通じて発信したり、閲覧書類として手に取れるように設置したりしています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		災害に備え、定期的に避難訓練を実施しています。有事の際に適切な	

対応				行動がとれるよう、職員全体で共通理解を深めています。		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬をしている場合には、事前に確認を行い、行動や体調面を注意して見守るようにしています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、該当する利用者様はいません。 今後対応が必要な場合には、医師の指示書に基づく対応をとっていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		都度ヒヤリハットを作成し、保管しています。 職員間で情報を共有し、同様の事象が発生しないよう、改善に努めています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		人権擁護・虐待防止の為に研修を、定期的を実施しています。研修で学んだことを、日々の支援で実践しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		利用者様の安全を確保するという観点から、保護者様に目的や行う可能性のある場面を具体的に説明し、同意を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名： こどもサポート教室「きらり」稲田堤 校

保護者等数（児童数）：16 回収数：13 割合：81%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13				1対1の丁寧なサポートで、満足している。	職員の専門性を高められるように、今後も積極的に研修等に参加し、期待に添えるよう努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1		1	教室内はバリアフリーになっている。	利用者様が安全に活動できるように、環境を整えていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13					感染症対策で消毒・換気を適宜行っています。今後も衛生管理には気を付けていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	1				利用者様・保護者様のニーズを計画に反映させていただきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			1		要望に合わせ、計画の見直しを適切に行ってまいります。利用者様のより良い発達や成長に繋がるよう支援を行ってまいります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12			1	たくさんのおもちゃに触れられると、より嬉しい。	利用者様の興味関心を把握し、意欲的に活動できるように配慮しています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	4	5	・個別支援の為、分からない。 ・園との連携があると助かる。	交流は行っていませんが、保護者様や園からの要望があった際には、幼稚園や保育園等への訪問や見学を行っています。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	1	2	1		支援後の保護者様との振り返りや事業所内相談など通じて、家族支援を行っています。 保護者様の要望に適切に応えられるよう、今後も支援を継続していきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	6	6		保護者様の交流の場として、今後は保護者会や座談会等を検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11			2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	3		7		教室内の掲示板や、インスタグラム、LINE 等を用いて、教室の活動の様子が伝わりやすいように工夫をしています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	1		1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	1	1	3		策定したマニュアルをもとに、定期的に各種訓練を実施し、計画書や実施記録等を保管しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	1	6		定期的に訓練計画を立て、災害時を想定した訓練を実施しています。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1			通所の朝は、自分から「きらり」と言っ	

満足度							で、嬉しそうに通うことが出来ている。	
	③	事業所の支援に満足しているか	12	1			コミュニケーションが少しずつ上手になってきていて、満足している。	利用者様、保護者様のニーズにお応えできるように、今後も一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を心掛けていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。